

◆ グループワークの課題

「事例の利用者様を担当することとなりました。基本情報を元に、あなたなら自立に向けてどのような支援を行いますか。各職種で出来る事を考えてください。自立支援に向けて目標をひとつ決め、チームアプローチをグループ内で話し合い考えてください。」

◆◆ 意見

・短期目標は自宅内での移動、自立。長期目標は畑や趣味をできるようにする。
短期目標に関しては、日中はリハビリで雰囲気は分かるが、夜間の状態が分からないので、ご家族と情報共有して介入していくことが必要。短期・長期目標に関して一番大切なことは、安全に生活すること。脳出血の既往があるので血圧がどうなのか、負荷を上げていくときの対応、脳卒中後のマヒで筋緊張が日内変動であるのでそのあたりも。日中、夜間、転倒されたのは朝ということで朝はどうなのかなど。
また、日記を書けるようなら提案し、訪問時に確認しながら利用者さんへフィードバックしていく。

・初期の ICF の状態からどういったことを目標とし関わっていくかを話し合った。
長期目標は家事動作への参加ができるようになること。家での役割を何か獲得できるようにする。それに向けての短期目標は移動の自立。最終的には台所まで行けるよう段階づけて、まずは寝室からリビングへ。リビングでは、床から立ち上がる時に不安定なためタッチアップをつけるなど環境調整を行う。
食事についても最終的に台所でとれるようにする。配食サービスの方や娘さんの協力を得て、寝室でとっていた食事をリビングに置いてもらって、次に台所に置いてもらってレンジなどを利用し自分で準備できるようになると自尊心が高まり、やっぴいこうという気持ちになるのではないか。

（米井さんより）

このグループディスカッションで多職種の方とお話が出来たと思います。これが理想となるチームアプローチ、多職種連携だと思います。

自分の担当の方を思い描き、どのように自立支援に持っていかなければいけないのかをもう一度考えていただき、その中で一人で悩むのではなく色々な職種の方と相談するという勇氣が必要です。

この研修会で色々な方と連携をとったことで、相談するという勇氣がついたのではないのでしょうか。皆さんと連携し協力していくことで鳥取県が元気になればと思います。本日はありがとうございました。